

## 令和4年度第9回田上町教育委員会定例会会議録

1. 開会年月日 令和4年11月21日 午後2時00分
2. 開会場所 田上町役場 会議室2
3. 出席委員 教育長 安中 長市  
教育委員（教育長職務代理者） 石田 一平  
教育委員 山田 正夫、齋藤 美里、渡邊 悦子
4. 欠席委員 なし
5. 職務のため出席した者  
事務局長 時田 雅之、指導主事 佐藤 春男、局長補佐 諸橋 弘樹
6. 会議に付した事件
  - (1) 議第1号 旧田上町公民館の用途廃止について
  - (2) 諸報告
  - (3) その他
7. 会議の経過及び結果  
令和4年11月21日午後2時00分、令和4年度第9回田上町教育委員会定例会の開会を宣言した。本会期を1日と提案し、了承され決定した。本日の会議録署名委員に渡邊委員を指名した。

教育長 議事に入ります。議第1号について事務局より説明願います。

局長 では、議第1号になりますが旧田上町公民館の用途廃止についてであります。皆さんご承知のとおり、旧公民館から交流会館の方へ公民館機能を移し運営しているところではありますが、旧公民館の建物の関係について用途廃止を行うものであります。詳しくは補佐の方から説明をいたします。

補佐 資料1ページはぐっていただき、議第1号旧田上町公民館の用途廃止についてまとめてあります。旧田上町公民館の用途について、下記のとおり廃止するものとするということで、物件の概要は別紙のとおりで後ほど説明いたします。廃止の理由については、田上町交流会館及び田上町地域学習センターへの移転に伴い不用となるため。廃止予定日につきましては本年の12月1日を予定しております。

では、具体的にどこの場所かというものを財産台帳の方でまとめてありますのでご覧ください。

建物が 3 棟に分かれておりまして、一つが公民館（事務室・集会場）ということになっております。公民館と物置と物置プレハブということで、資料裏側に図がありますがこのような形で建っております。

もう一つが公民館（旧役場庁舎）というものです。裏面に位置図を添付しております。最後に公民館（総合庁舎）ということで位置については裏面をご覧ください。

以上を廃止とさせていただくものであります。現況写真も添付しておりますが、大分痛みが進んでおりまして瓦が落下しても怪我をすることがないようにという事で、周囲をバリケードで囲んでおります。説明は以上になります。

教育長           今は教育委員会の管轄であります但総務課管理に移し、将来的に取壊しができるよう手続きをするものであります。いかがでしょうか。

思い出のある建物ではないかと思いますが。よろしいでしょうか。（「はい」の声）

続いて諸報告という事で、局長の方から説明をお願いします。

局長           では口頭説明になりますが、田上中学校のプールの件についてということで、これまでも皆さんの方にご説明してまいりましたが、加茂市と覚書を交わしまして 11 月に各学年 2 回ずつ温水プールを利用したプール授業を予定しております。初日は 11 月 14 日 3 年生 90 人が利用する予定でしたが、新型コロナの関係で 2 年生と 3 年生が 11 月 14 日と 15 日の 2 日間学年閉鎖となりました。それで 3 年生のプール授業を 1 年生に変更し実施いたしました。その後、学年閉鎖も明け予定通りプール授業を行っております。利用の状況がどうであるか、教育長と 2 人で見学に行っていました。生徒の皆さんは暖かい屋内プールで一生懸命プール授業に取り組んでおりました。見学時は教職員が 2 人、それと校長が引率についておられました。残りの授業は 11 月 24 日 2 年生、25 日が 3 年生を予定しております。来年度につきましては、現在中学校のプールを改修中でありまして、自校のプールを使って授業を行う予定であります。

実は保護者の方から苦情と言いますかご意見を 1 件頂きました。学年氏名はお聞かせいただけませんでした但、女子生徒の保護者の方だと思われます。プール授業を行った後に学校の方ではドライヤーの使用ができないという事で案内しております。あれだけの人数になりますと、電源や場所

の問題がありましてなかなか使用が難しいことからそのように案内をしております。そのかわり、帰りのバスの中、学校の教室の中を事前に温めて、帰ってきたときに生徒が寒い思いをせず、髪の毛がすぐに乾くよう配慮をしておりました。

その旨、保護者の方にはお伝えいたしました。納得は頂けなかったかもしれませんが状況はご理解いただいたという事であり。やはり保護者の方からすると时期的なものが心配で、この時期にプールを行ったことによりコロナに感染したとかインフルエンザに感染し、その後学校を欠席しなくてはならない状況になることを心配してのことだったと思われ。ます。

教育長

一旦ここまで。ということで、プールの方へ私も見学に行っていました。非常に楽しそうでした。暖かいですね。しっかり授業をしておりました。校長に聞いたら、生徒はきれいであったかという事だったんですが、来年も温水プールを利用することは難しいので、今度田上中学校で授業を行っていきたく思います。

この件についていかがでしょうか。よろしいですか。

では、続きまして給食費についてお願いします。

局長

小中学校の給食費につきまして、今年度は物価高騰の影響を受けまして、食材の価格がかなり高騰いたしました。その関係から、国からの臨時交付金を活用し保護者の負担額が増えないよう、250万円程学校給食会へ補助を行い、給食費を据え置きとさせていただきます。

春先の給食会議の中では、この先の物価高騰の状況を見ながら秋の給食会議において来年度以降の給食費を検討させていただきたい旨の説明をしていたところです。

11月2日に今年度2回目の給食会議が開催され、学校栄養教諭の方から令和6年度までの給食費について試算をし、役員の方々へお示しさせていただきました。今回、案が2つございまして、令和6年度までの試算と物価の状況が不安定でありますので令和5年度のみ2つの試算をお示ししました。

まず小学校であります。案1としまして令和6年度までの試算とした場合、月700円増となり月額5,600円とする案と、案2としまして令和5年度のみとした場合、月500円増、月額で5,400円とする案であります。

同じく中学校で令和6年度までの試算とした場合、月700円増で月額

6,500円、令和5年度のみとした場合、月500円増で月額6,300円とする案が給食会の方から示されました。

委員の方々からは、これだけ不安定な物価の変動が続く中で、令和6年度までの試算を行う事はいかななものかと、改定が必要であれば単年度ごとに物価を捉えて毎年見直していく形がいいのではないかという意見をいただきました。

そこで案2とした方がいいという方が多数おられましたので、小学校で月500円増、月額5,600円、1食あたりの単価が277円から300円に、中学校で月500円増、月額6,300円、1食あたり328円から355円にする案を予定していきたいという事になりました。

単価の話については以上のような金額で予定することに了解は得られましたが、意見の中ではPTA要望の中にもありますように物価高騰に対する給食費への補助を行ってほしいという話もありました。

給食単価については、子ども達にどのような給食を提供するかによって単価が変わります。給食会役員の方からはこれまで同様の栄養価を維持する事や子ども達が楽しみにできる給食の提供を続けて欲しいという気持ちがあり、そういった給食を提供するにはここまで単価を見直す必要があるという事を決めるのが給食会議での話しであって、町からの補助については切り離して考えていただきたいとお話しをさせていただきました。ただ、教育委員会としては一生懸命補助金について予算要望してまいりますが、実際に予算化されるかどうか、今は返事が出来ないとお伝えしております。

給食については以上であります。

教育長

この問題については教育委員会で2回ほど説明させて頂いているので、大体意味合いはご理解いただけたのではないかと考えております。この前と違う点は、提案が2つあったという事です。令和6年度までの試算と令和5年度のみでの試算という事でありましたが、とりあえず来年度の単価を決め、その後は状況を見て判断していこうということになりました。

報告あった通りなんですが、この件についてどうでしょうか。

この給食会は給食の内容を決めるものです。今の質を求めるならこのくらい、でも高くなるから栄養はともかくデザートを抑えるとかすればお金は安くなりますよね。

一応この会では現在と同じ質、デザートを出して欲しいということで、

この単価にするということであります。

山田委員 局長の話しでよく理解できました。令和 6 年度までを見通すとすると、この先分かりませんからね。自分の首を絞める事になるかもしれない。単年度の方が妥当かなというふうに考えています。

教育長 実際この単価で来年度どこまでできるかという事も正直言って分からないんですよね。齋藤委員どうですか。

齋藤委員 大変よく分かりました。

教育長 P T Aからの要望もありますけれども、教育委員会としてどう考えますか。

局長 今一生懸命要望中でありますので、これが予算化されるのかされないのかというのは、今月末から始まります予算査定如何によってという事になるかと思えます。

教育長 今、多子世帯に対する補助で年間 700 万円の予算が組まれています。例えば値上がりする分を町が補助するとすると、300 万ちょっとかかると思われます。

でも、来年 300 万円出して終わるならいいのですが、値上げした分をこれからずっと町が負担していく、また再来年値上げをしたらその分も町が負担をする方向になってきますよね。そうすると財政的にすごく厳しくなるんじゃないかと思えます。

教育委員会として要望はしていくけれども、それはこれからの事だという事でいいですか。

石田委員 どうですか。

石田委員 値上がり分を全て賄うという事を道付けしてしまうと、今後の事を考えた時に一抹の不安はありますよね。学校給食会はどれくらいのクオリティでこれくらいでできますよと、値段だけですよね。そこの中で是非とも町の方に補助をお願いしたいという要望とはまた別な話しですよ。その辺を上手く調整しておかないと、後々全部が全部値上がり分となるのは如何なものかという気はしますよね。

私はある程度、値上がり分に対しての何パーセントは町が出す、何パーセントは保護者から負担してもらおうというような方向付けも必要なんじゃないかなと思いますけどね。

局長 実際に今回月 500 円ということで、年間にすれば 6,000 円になるんです

けれども、そのお金が本当に苦しいと捉えるご家庭もいらっしゃるでしょうし、500円程度のものであれば口に入るものですし何とか親が負担しなきゃいけないかなとお考えになるご家庭もいらっしゃるでしょうし、様々なご意見があるかと思えます。

石田委員が言われたように、はたして物価高騰分を町が恒久的に補助するという事が妥当なのかというところも考えるところで。

山田委員

今、田上町で給食費を滞納しているご家庭はいますか。

局長

給食会議の当日もその話しがでまして、学校の方のお話しですとほぼ入っているそうです。未納のご家庭はいらっしゃらない。

山田委員

よく言われるんですが、義務教育だから給食費も全額負担すべきだという考えがあるんですけども、その考えに対する方針をきちっと決めておかなければいけないなと思うんでよね。給食費が値上がりになったときに、半分は町が持ちますよ、私はこれはやってはいけないと思うんですよね。基本的に食費というのは個人で負担してください。それで非常に生活が大変ならば生活保護とか教育委員会の補助などでやっていくんですからという、そっちの方でやっていかないと私は際限ない話しになってくるんじゃないのかなという気はするんですね。

ですから、一応食費、口に入るものは基本的に個人で負担するという考えにおいて、その他のところで補助するっていうような形で考えて行かないと。これ非常に大きな問題ですよ。その内、給食費未納というのが、どーっと出てきて、そうなりかねないのかなと心配しております。

局長

今の流れが給食費といえども、弥彦村の例で言いますと無償化という流れになっています。また、県外においても無償化という話を報道で聞いており、流れがそういった方向に行き始めているのかなという気もしております。どこまでを教育予算で見なくてはならないのか、少し悩んでおります。

給食費というのは実は補助金は何種類か入っております、米飯給食に対する町からの補助金、それと多子世帯の給食費補助、こちらは直接保護者へお返しするものになります。例えば二人目のお子さんは半額分、三人目のお子さんは全額を学期ごとにお返しするというものです。もう一つはJAからの補助金で米飯給食に対する補助金をいただいております。

教育長

私も今までですと石田委員とか山田委員と同じで、自分の口の中に入る

ものはという考え方だったんですが、さっき局長が言われたように流れが大分変わってきました、今年いわゆるコロナ禍における物価高に対する支援で 200 万円程補助しましたよね。来年もそれがあれば入れられるわけですが、もしなければどうしようかといった時に、周りの市町村でも物価高は市町村が負担しろというふうに考えているところが出てきました。それはさっき言った無償化というくらいのものである中で、そういう方向が出てきました。

その中でどのように考えて行くかというところなんじゃないかと思います。ここにお金をかけるという事は、他にかけられないという事です。それなので、どこにお金を使っていくかというふうな考え方になっていくんじゃないかと思っています。

もともと、材料費しかもらっていないんです。電気代もガス代もみんな町が負担しているわけです。そのうえで、さっき言ったコメに対する補助や多子世帯に対する支援を行っているんです。

続きまして、羽生田小学校の 150 周年、ありがとうございます。渡邊委員どうでしたか。

渡邊委員           とても和やかでいい会でした。参加させてもらい本当に楽しかったし、すごく印象深く楽しい会でした。

教育長             山田委員どうでしたか。

山田委員           前にいた低学年の子ども達、1年生2年生だと思うんですけど、歌声がとっても素晴らしいというのが、すごく印象に残っていい会だったなと感じました。

教育長             石田委員どうですか。

石田委員           児童代表の女の子のコメントが、前を見たまま文章も読まず淡々と堂々としていたことに感心しました。

教育長             齋藤委員どうですか。

齋藤委員           私も山田委員と同じなんですけれども、校歌を子ども達が元気よく大きな声で歌っていて、そこにジーンと感動しました。みんな学校が大好きなんだなと思って、みんなで祝えたことがとてもよかったと思います。

教育長             局長も参加したのですが、どうでしたか。

局長               懐かしさと、齋藤委員も言われていました校歌が、変わらずずっと歴代続いていること、また二部の方でも山崎さんから涙が出ますというお話し

を聞いたときは、同じ気持ちでありました。これだけ歴史が続いてきているんだと改めて感じました。

石田委員 帰りには、学校っていいもんだなとしみじみ思っていました。

教育長 実は町長が参加できなかったのですが、今日の庁議の中で 150 周年に出られなかったのが非常に残念だったと言われていました。

以上であります。他に事務局から何かありますか。

局長 ありません。

教育長 それでは、第 9 回田上町教育委員会定例会を閉会いたします。